

長年の経験と全国ネットワークに裏打ちされた 高品質再生樹脂のリーディングカンパニー

同社は樹脂のリサイクル業界にあって、高度な品質管理技術に裏打ちされた独自の生産工程を保有し、再生材でありながらバージン材と同等の品質の材料を、自動車産業を中心に多様な企業に提供している。半世紀以上の歴史と経験に加え、全国規模の調達ネットワークにより、自動車の他、建築・土木、家電、文具、日用雑貨、などの幅広い製品用途に対して、顧客要求を満たす再生樹脂原料を、安定して供給している。高品質な再生プラスチックの供給を通じ、資源循環ビジネスをリードしている。

所在地 愛知県名古屋市東区相生町55番地
電話/FAX 052-931-1211 / 052-930-1975
URL <http://www.isono21.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 磯野 正幸

設立 1957年
資本金 9,600万円
従業員数 100人



高度な配合・品質管理技術で幅広い顧客ニーズに対応した再生原料を製造

顧客のニーズを把握し、廃材の物性分析を精緻に行うとともに、強化剤や補修材を組み合わせ、要求に合致した高品質な再生プラスチック原料を製造できる点が同社の強みである。材料となる廃材は、常に同一品質のものが調達できるとは限らないため、品質の異なる廃材でも、材料や添加剤を適切に組み合わせる高度な配合・品質管理技術により、幅広い顧客ニーズへの対応を可能にしている。こうした技術的強みを基に、要求水準の高い自動車業界へ、いち早く再生樹脂材の提供を実現してきた。



自動車解体の現場

データベース化やIoTの活用による効率性の向上とさらなる研究開発への挑戦

再生材だけでなくバージン材も商材に持つほか、調合には150種類の顔料と30種類の添加剤等から最適な物質を選択する。長年の経験やノウハウをデータベース化し、業務効率化やリサイクル材の品質の高度化を図っている。さらにこれらのデータベースは、IoTやAIなどのデジタル技術を活用し、社内工程の自動化や廃棄物の選別技術の高度化等へも挑戦している。研究開発においても、NEDO事業に参画するなど、民間事業者だけでなく研究機関とも連携した材料再生プロセスの開発を開始している。



技術者によるニーズに合致した配合の検討

全国の解体業者とのネットワークで従来にはない高品位と社会貢献を実現

自動車部品のリサイクルにおいて、破砕機投入前に丁寧に分別し、回収するネットワークを構築することで、従来にはない高品位なマテリアルリサイクルを実現した。分別は手間がかかるため敬遠されがちだが、同社から全国の解体業者への積極的な働きかけにより、100トン/月の調達ルートを確認、高度な資源循環に繋げている。「今こそ地球に恩返し」を経営理念に、世界の環境保全に貢献する企業を目指し、樹脂完全循環に貢献したとして、環境省からも認定された。環境に優しいネットワークの効率化を目指している。



再生された樹脂原料